

(様式5)

調査報告書

訪問調査日	平成19年9月26日
調査実施の時間	開始 10時 00分 ~ 終了 15時 20分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム かなめ (大阪府)
-------------------	------------------------

外部評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

評価調査員の氏名	氏名 日野和臣
	氏名 西井美智子
事業所側対応者	職名 管理者
	氏名 三崎時子 ヒアリングを行った職員数 (3)人

記入方法

「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に をつけてください。

項目番号について

外部評価項目は30項目です。
「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

【評価実施概要】

事業所番号	2772500423
法人名	特定非営利活動法人 縁21
事業所名	グループホームかなめ
所在地	大阪府池田市室町4-37 (電話)072-752-7695
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ 大阪支店
所在地	大阪市中央区本町4-4-24住友生命本町第2ビル3階
訪問調査日	平成19年9月26日

【情報提供票より】(平成19年7月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	13年	4月	1日			
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	6	人			
職員数	16人	常勤	1人	非常勤	15人	常勤換算	6.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り	
	2階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000	円	その他の経費(月額)	18,000	円
敷金	有() 円) (無)				
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) (315,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無		
食材料費	朝食	円	昼食	円	
	夕食	円	おやつ	円	
または月額37,000円(1日全ての食事を取らない場合、1日つき1,250円返還)					

(4) 利用者の概要(7月7日現在)

利用者人数	6名	男性	0名	女性	6名	
要介護1	0	要介護2	3			
要介護3	1	要介護4	1			
要介護5	1	要支援2	0			
年齢	平均	83.3歳	最低	76歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田回生病院・本町診療所・河合歯科・はやしくリニック
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用定員6名のNPO法人が運営する小規模なグループホームである。共有空間は、ゆとりあるスペースが確保されているが、職員からは入居者の様子をいつも確認することができ、入居者も安心した穏やかな様子で過ごされており、心地良い空間となっている。入居者それぞれが役割や楽しみごとを持ちながら暮らしてゆけるように職員が入居者一人ひとりを尊重しつつ、支援している。また、地域密着型サービス事業所としての役割を果たすべく、地域住民との関係を重んじ、行事等に参加したり、ホームで食事会等を開催し、住民を招いたりする取り組みもある。入居者の社会性を大切に考えて、実践しているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での主な改善課題として、介護計画の見直しと個別の食事状況の把握があげられていた。計画の見直しについては、定期的な評価の実施及び書式の見直しに改善が見受けられる。また、個別の食事状況の把握に際してもしっかりと記録され改善されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価実施に関しては、職員全員で評価を実施し、個々の評価を管理者が集約する形式をとっている。職員全員で項目確認を行うことの有益性を理解しており、外部評価を年間の業務を通じての見直しの機会と位置づけている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 市職員・自治会会長・地区民生委員・入居者及び家族代表・ホーム長の出席の下で、これまでに2回、会議を開催している。会議の場においては、会議の目的や意義の説明、グループホーム概要説明、行事予定報告や市職員を始め、参加者からの意見収集がなされている。今後は、更に会議の内容を吟味し、サービス向上につなげたい考えを示している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 日常的に家族の来訪も多い為、意向等の聞き取りには注力している。また、毎年開催する敬老会の後に、家族会を開催し、その席には介護相談員も招き、情報交換も行われている。玄関には意見箱を設置することで、意見収集にも努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の自治会や老人会に加入することで、地域の情報を得ると同時に、行事等に参加している。また、ホームで茶話会や食事会を行う際には近隣住民に声かけを行い、出席して頂くことで外部の方と交流する機会を確保しつつ、入居者の社会性を維持できるように配慮している。

2. 調査報告書

主任調査員氏名:日野和臣 / 同行調査員氏名:西井美智子

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念として、地域の中で当たり前暮らしを支えるケアを主眼に置いた理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議でも、外部との関わりを議題として取り上げることで地域との関係を意識できるようにしつつ、日常のケアに結び付けている。		
2.地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会や老人会に加入することで、地域の情報を得ると同時に、行事等に参加している。また、ホームで茶話会や食事会を行う際には近隣住民に声かけを行い、出席して頂いている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価受審を日常業務の見直しの機会として位置づけ、定期的に受審している。自己評価実施に関しても、職員全員で確認を行うことの有益性を理解している。前回の改善指摘事項に関しても、見直しが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>市職員・自治会会長・地区民生委員・入居者及び家族代表・ホーム長の出席の下で、これまでに2回、会議を開催している。会議の場においては、会議の目的や意義の説明、グループホーム概要説明、行事予定報告や市職員を始め、参加者からの意見収集がなされている。</p>		<p>運営推進会議は、制度的には2ヶ月に1回以上の開催が求められている。更に積極的に開催することで、ホームの状況を理解してもらいつつ、要望や助言を頂けるよう活動されることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険更新申請等の折に、市町村担当者を訪れ、情報収集を行う機会がある。市担当者以外にも、介護相談員や民生委員等との連携を図ることで、情報や状況の共有化している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者家族も近隣の方が多く、来訪も多くあり、その際に口頭により近況報告をすることが多い。また、個別の連絡帳を作成しており、来訪時に確認して頂くシステムもある。金銭管理についても連絡帳を活用して明細等も報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎年開催する敬老会の後に、家族会が開催されている。その際には介護相談員も招き、情報交換も行われている。玄関には意見箱も設置し、意見収集に努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>これまでに職員の異動や離職は非常に少ないが、離職等があった場合は、利用者への配慮から馴染みある職員を中心に対応するようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部で行われている研修の情報を得ることで、職員に参加を促している。参加者は施設内の会議等の機会において報告会を行い、他の職員との情報共有を図っている。</p>		<p>情報収集に注力することにより、年間の研修計画を予め立て、職員の経験や力量に応じた必要性の高い研修が受けられるよう、組織的に取組まれることを期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は比較的小さい状況にあり、地域内でのネットワークをつくるのが出来ないか検討中である。</p>		<p>全国組織や大阪府下または地域内での同業者のネットワークに加入することで、様々な情報を得ることができ、サービスの質向上に向けた連携も図りやすくなると思う。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には体験入居をして頂き、入居者及び家族、職員が相談しながら入居して頂くことが多い。また、自費によるショートステイを利用される方もあり、馴染みの関係を重視した対応がなされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者のできること・できないことをモニタリングを通じて見極めながら、日常の中で役割を持って頂きながら生活をして頂いている。また、入居者の過去の経験から、職員が学ぶことが多くあることを理解している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常会話の中で、現在の意向を伺い、把握するように努めている。また、聞き取った意向に関しては、ミーティング時の議題に上げ、また、家族とも相談しながら、その実現に向けて検討している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の希望、生活歴、状態像を把握する為のアセスメントを行い、カンファレンスを通じて得た情報を加味しながら、介護計画が作成されている。家族来訪時には、介護計画に関する意向聞き取りも行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとに、個別のケアカンファレンスを実施し、評価を行い記録として残している。また、6ヶ月ごとのプラン更新を基本としつつ、変化が見られた際には、計画の見直しが行われ、サービス内容の変更へとつなげている。</p>		<p>短期及び長期目標設定も適切に行われ、サービスが実施されている。現在、介護計画更新時期を長期計画に合わせているが、短期目標期間設定での見直し及び更新を実施することで更にきめ細かい検証とサービス提供が実現すると考えられる。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携を行うことで、定期的に訪問診療を受けつつ、健康管理がなされている。また、自費によるショートステイのサービス提供を行っており、定期的な利用者もある。入居者の中には身体状況により、訪問入浴を利用している方もあり、柔軟に支援が提供されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>隔週で、提携医の往診があり、通院が困難な入居者に対しての適切な受療支援体制が整えられている。また、かかりつけ医の受診希望者に対して、往診を依頼したり、家族同伴を基本としつつ、通院介助を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用開始前後での意思確認、また状況に応じた話し合いを行うことで、終末期等に関する考え方を共有している。出来る限りのホーム内支援が行うことを基本とし、現在、ホームとしての明確な指針を検討している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入職時に管理者より個人情報の取り扱いに関して説明がなされている。また、会議等の機会においても話し合いがなされている。ホーム見学時においてもプライバシーを損ねるような対応は見受けられない。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>生活リズムを保つ為の一定の決まりはあるが、個々のその日の気分を考慮して、出来るだけ個別に対応するように配慮している。散歩や買い物等も希望に合わせ、出かける様に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作成時には入居者の好みも反映できるように、日常的に食事評価が行われている。また、食事の準備や片付けも入居者の力を活かしていただきながら、職員と共に作業を行う場面作りも工夫されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴支援を基本としてサービス提供が実施されている。入居者の状況により適時、対応がなされているが、夜間帯の入浴支援は職員の配置上、難しい状況下にある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や洗濯や食事準備等の家事を中心に役割を持ち、生活している。歌を歌ったり、絵を描くことが好きな方がいる為、環境づくり配慮している。また、ボランティアを受け入れ、踊りを披露してもらうこともある。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩や買い物以外にも、外出に出かけたりすることもある。また、家族の協力を得ながらの外出支援も実施されている。歩行が困難な入居者に対しても車椅子を利用し、戸外に出かける機会を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関を施錠することなく、職員が見守りに注力することで、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>これまで年に1回、消防署等の協力を得ながら、消火訓練や避難訓練を行っている。また、マニュアルを作成し、職員間での確認が行われている。</p>		<p>事業所だけでなく、地域住民や自治会等の協力を得ながら、避難訓練等を実施されることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の毎食後の食事摂取量や水分摂取量を把握することで健康管理に努めている。また、外部の栄養士に献立を確認してもらうことで栄養バランスに配慮する取り組みもある。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者6名のホームであるが、ゆとりのあるスペースが確保されている。テーブルやソファ、観葉植物等の設置があり、落ち着いて過ごせる雰囲気がある。また、椅子を設置して日差しを感じながら過ごせるスペースもある。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は、私物や好みのものが持ち込まれ、入居者にとって居心地の良い空間となるよう配慮が見受けられる。表札の設置位置を個別に変えることで自室の位置を分かりやすくする配慮もなされている。</p>		

は、重点項目。